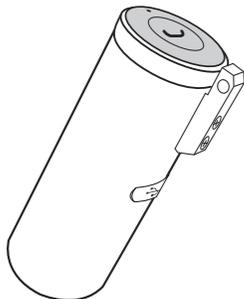


取扱説明書

保証書付



Bluetooth®

このたびはAX-B10Fをお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

■定期的に充電してください
本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充電してください。充電をしないとバッテリーが膨張したり劣化したりする原因となります。

■日本国以外では使用しないでください
本製品は日本国内で使用するための認証を取得しています。日本国外では各国独自の安全規格が定められており、この製品が国外の規格に適合することは保証いたしかねます。



■静電気の発生しやすい場所や埃の多い場所での使用や保管は避けてください

■本製品が汚れた時は、水または中性洗剤を少々含ませたやわらかい布で拭いてください
ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となりますので、使用しないでください。

■水気の多い場所での使用・保管はしないでください
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因になります。

安全上のご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
ご使用の際には、次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 警告** この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。
- 注意** 注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

絵表示について

- ⚠ 気をつけていただきたい内容です。
- ⊘ してはいけない禁止内容です。
- ❗ しなければならないことを表しています。

警告
(人身の安全のためにお守りいただくこと)

⊘ **車の運転中は使用しないでください**
車の運転中にはイヤホンマイクを使用しないでください。車を側道など邪魔にならない場所に停車してからご使用ください。また、歩行中、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、安全の確認をしてください。

❗ **万一、異常が発生したときは**
本製品から異臭や煙が出た場合は直ちに使用を中止し、充電中の場合はボトムベース（充電器）からイヤホンマイク、USBケーブルを外してください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

電波に関する注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線機）が運用されます。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉などの事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた時には、弊社サービス課までお問い合わせください。

内蔵バッテリーについて

- バッテリーは正常に使用した場合でも劣化する消耗品です。バッテリーの消耗は特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。
- 本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリーの性能は低下します。何回か充放電を繰り返してバッテリー容量の回復を試みてください。
- 周囲温度が低い環境及び高い環境では持続時間が短くなります。

⊘ **高温のまま放置しないでください**
本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所や長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。車の中には絶対に放置しないでください。本製品を高温の車内に長時間放置しておく、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

❗ **ボトムベースの充電が終わったら USB ケーブルを抜いてください**
所定の充電時間を超えて長時間充電をした場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

⚠ **着信音量の設定には十分気を付けてください**
携帯電話と接続して使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因や、心臓に影響を与える恐れがあります。音量の設定には十分に気を付けてください。

⊘ **分解しないでください**
修理や改造・分解をしないでください。関電や火災・やけどの原因になります。

⊘ **病院内や航空機の中などでは使用しないでください**
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機内の計器類などの誤動作の原因になります。

⊘ **雷が鳴り出したら本製品には触れないでください**

廃棄について

本製品は内部電池にリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合はリサイクル協力店または一般社団法人JBRCへご相談ください。

商標について

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 エフ・アール・シーはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

免責について

※お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や火災等の外的な要因によって生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

注意
(けがや本製品の故障を避けるためにお守りいただくこと)

⚠ **屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください**
屋外で使用する際は、周りの状況がわかるように音量を適度に調整してご使用ください。また、交通量の多い道路など安全に注意が必要な場所での使用は避けてください。

⊘ **水気の多い場所での使用・保管はしないでください**
水気や湿気が多い場所で使用したり保管したりすると、本製品内部に液体が入り、故障、火災、感電の原因になります。

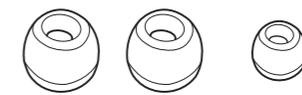
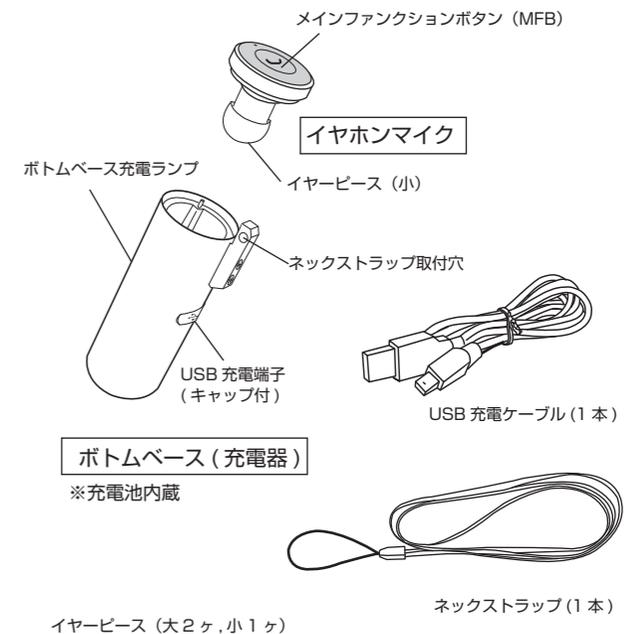
⊘ **小さなお子様の手の届くところに保管しないでください**
誤飲など思わぬ事故を招く場合がありますので、小さなお子様の手の届くところに保管しないようにしてください。

⊘ **保管場所に関する注意**
本体は精密な電子機器のため衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所、高温多湿の場所などでの保管は避けてください。故障の原因となることがあります。

⊘ **車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください**
ごくまれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

❗ **ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください**
本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際にはこれらの機器の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項に従ってください。

同梱品と各部の名称

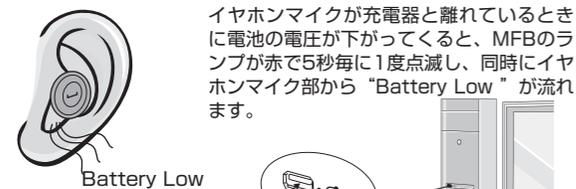


本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

使用する前に

1.充電をする

- 本製品は、イヤホンマイク、ボトムベースともに内部電池にリチウムポリマー充電電池を使用しています。使用前に十分に充電をしてからご使用ください。
- ボトムベースが満充電の場合、使用状況にもよりますが、イヤホンマイクを5回充電できます。



■充電方法

- ボトムベース充電ランプ
- イヤホンマイクの充電
- イヤホンマイクをボトムベースと接続します。
 - MFBのランプが赤と青で交互に点滅します。(ペアリング中は赤と青2回点滅を交互)
 - 満充電になると青で5秒毎に1回点滅します。(ペアリング中は青で5秒毎に2回点滅)

- ＜ボトムベースの充電＞
- ボトムベースに付属のUSBケーブルを接続します。
 - USBケーブルをUSB電源（またはパソコンなどのUSB端子）に接続します。
 - 充電中はボトムベースの充電ランプが赤で点灯します。
 - 満充電になると消灯します。

ご注意：充電が終わったら、USBケーブルを抜いてください。所定の充電時間を超えて長時間充電をした場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

8

着信を拒否する

- 呼出音が鳴っているときに MFB を2秒間押し続けると、アナウンス “Call rejected” が流れ着信が終了します。

電話をきる

- 通話を終了する場合、MFB を短押しすると、アナウンス “Call terminated” が流れて通話が終了して待ち受け状態になります。イヤホンマイクを充電器にセットしても通話が終了します。

電話をかける

- 本製品からの発信はできませんので、携帯電話機から発信してください。
- ※携帯電話機によって自動でイヤホンマイクに切り替わらない機種は電話機本体で切り替えてください。

リダイヤルする

- 最後に電話をした番号へリダイヤルする場合 MFB を早めに2回押しと（ダブルクリック）、アナウンス “Last number redial” が流れてリダイヤルされます。

音楽再生

- 再生：MFB を短押しすると音楽が再生されます。
- 一時停止：音楽が再生中に MFB を押すか充電器にセットすると音楽再生が止まります。

■2台のスマートフォン等と接続する場合

- まず1台目のスマートフォンが接続状態にある場合は接続を切ります。
 - MFB を長押しして赤と青のLED を交互に点滅させ、ペアリング待機状態にします。
 - 2台目のスマートフォンの Bluetooth 接続を行い、“AX-B10” を検索しペアリングを行います。
 - 最後に1台目のスマートフォンを再接続すると2台のスマートフォンと接続が可能となります。
- 【ご注意】ペアリングが切れた場合、ペアリング状態はリセットされますので、上記手順に従って2台目のスマートフォンを再接続してください。

12

2.ペアリングをする

- 使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリングを行ってください。

■ペアリング方法

- イヤホンマイクをボトムベースから外します。
- 電源を切った状態で MFB を3秒以上押しとペアリングモードになります。

※電源の ON/OFF について・・・
電源の ON：MFB を短押しする。(アナウンス “Power ON”)
電源の OFF：MFB を3秒以上押し。(アナウンス “Power OFF”)

MFB のランプが赤と青の点滅を始め、“Power ON” “Power ON” “Pairing” とアナウンスが流れます。

ペアリングモード中は赤と青の点滅を始めます



- スマートフォン等 Bluetooth 接続設定を開き、使用可能なデバイスにある “AX-B10” を選択してペアリングを行います。
- ペアリングが成功すると MFB のランプが青で5秒毎に2回点滅し、“Your Headset is connected” とアナウンスが流れます。

9

2台のスマートフォンと通話

1台目のスマートフォンで通話中に2台目のスマートフォンが着信した場合

- MFB を2秒押し（長押し）と2台目のスマートフォンの着信をキャンセルでき、1台目のスマートフォンの通話を継続できます。
- MFB を2度早押しすると、1台目のスマートフォンの通話を保留状態にして2台目のスマートフォンに応答します。この時に再度 MFB を2度早押しすると、2台目のスマートフォンの通話が保留状態になり1台目のスマートフォンに応答します。この機能を使うと2台のスマートフォンを切り替えができます。
- MFB を1度単押しすると、現在通話は終了してももう一方の通話へ自動的に移ります。

オートパワーオン / オフについて

- オートパワーオン
イヤホンマイクをボトムベース（充電器）に装着すると自動的にイヤホンマイクの電源がオンになります。
- オートパワーオフ
ペアリングが切断され、充電状態でない時、何も操作をしないと約10分後にイヤホンマイクの電源がオフになります。(ペアリング切断中は青と赤のLEDが交互に点滅します。)

故障かな？と思ったら

- 電源が入らない
本製品のバッテリーが充電されているかどうかの確認してください。バッテリーが充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。
- Bluetooth 搭載機器とペアリングできない
1. 接続先機器側の Bluetooth 機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合には、再度ペアリングモードにして設定する必要があります。
2. ご使用の機器が本製品のプロフィールに対応しているかを確認してください
3. 電源 ON の状態でメインファンクションボタンを押して再度ペアリングを試みてください。

ペアリングが成功するとランプが青で5秒毎に2回点滅し、ペアリング中になります。



ご注意：ペアリングが10分以上行われなときはイヤホンマイクの電源が切れます。

※接続設定は携帯電話によって多少異なる場合があります。詳しくは携帯電話機の説明書を参照してください。

■ペアリング後の切断と再接続

スマートフォン等との接続が切れるとき、アナウンス “Your headset is disconnected” が流れ切断されます。接続が切れているとき、MFB を短押しすると “Your headset is connected” とアナウンスが流れて再接続されます。

LED 表示について

■イヤホンマイクが充電器から外れているとき

電源 ON	青で2回点滅
電源 OFF	消灯
ペアリングモード中/切断中	赤と青が交互に点滅
ペアリング中	青で5秒毎に2回点滅
着信	青で早い連続点滅
ダイアリング	青で早い連続点滅
通話中	青で3秒毎に2回点滅
音楽再生中	青で3秒毎に2回点滅
電池電圧低下	赤で5秒毎に1回点滅

■充電時

●ペアリング中

充電中	赤と青2回点滅を交互
満充電	青で5秒毎に2回点滅

●ペアリング切断中

充電中	赤と青で交互に点滅
満充電	青で5秒毎に1回点滅

※ペアリング切断中は満充電になると、オートパワーオフ機能が働かず、約10分でランプが消灯します。

10

主な仕様

<イヤホン>	<ボトムベース>
対応 Bluetooth Version：4.0	サイズ（突起含まず）：径 20mm 長さ 53mm
サイズ：径 20mm 長さ 22mm	質量：23g
質量：2g	入力電圧：DC5V
入力電圧：DC5V	バッテリー容量：3.7V 500mAh
バッテリー容量：3.7V 25mAh	充電時間：約2時間
充電時間：約1.5時間	動作温度範囲：0～+45℃
通話時間：約1.5時間	
連続待受時間：約60時間	
プロファイル：HSP/HFP/A2DP/AVRCP	
送信範囲：2.4GHz - 2.48GHz	
受信感度：-90dBm	
接続距離：約10m	
動作温度範囲：-10～+50℃	

※通信距離はバッテリー残量や周囲の環境などに依存します。
※仕様および外観は改善のために予告なく変更することがあります。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げより1年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にて修理を依頼してください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
(ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及びその他、天災地変などによる故障及び損傷。
(ニ) 保証書のご提示がない場合。
(ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

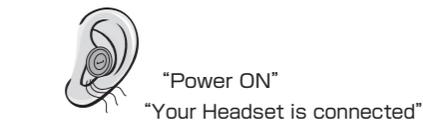
【サポート問い合わせ先】
株式会社 エフ・アール・シー サービス課
TEL:042-793-7746
土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00～12:00 13:00～17:00】

14

使用方法

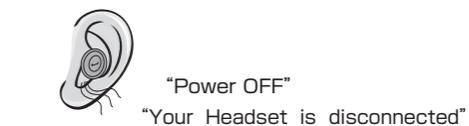
電源を入れる

- MFB を短押しする。アナウンス “Power ON” “Your Headset is connected” が流れ青色ランプが約5秒毎に2回点滅し、ペアリング中になります。



電源を切る

- MFB を3秒以上押し。アナウンス “Power OFF” “Your headset is disconnected” が流れ電源が切れます。



電話を受ける

- イヤホンマイクがボトムベース（充電器）から外してある場合・・・
MFB を短く押しすと、アナウンス “Call answered” が流れて通話を開始することができます。

- イヤホンマイクがボトムベース（充電器）にセットされているとき・・・
イヤホンマイクを充電器から外すと自動的に通話開始になります。

ご注意：着信したときにイヤホンマイクの MFB ではなく携帯電話を操作して電話を受けると、イヤホンマイクで通話ができないものがありますので、着信時には必ずイヤホンマイクを操作して（MFB を押しまたは充電器から外す）通話を開始してください。

11

保証書

この製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により、無料で修理いたします。
※印欄の記入のない場合には、有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名	ワイヤレスイヤホンマイク	AX-B10F		
●保証期間	※お買い上げ年月日	年	月	日より 1年間
※お客様	ご住所 〒			
	お名前	TEL()	-	
※販売店	店名・住所 〒			
		TEL()	-	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときは、配線の状態及び操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常のある時は修理依頼をしてください。

■保証期間中は：保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：お買い求めの販売店にご相談下さい。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

F.R.C. CO., LTD.
株式会社エフ・アール・シー
〒194-0035 東京都町田市忠生4-11-8 TEL. 042-793-7746
URL: www.frc-net.co.jp 4-368-001

